

第20回(平成24年度)事業報告書

(平成24年4月1日から平成25年3月31日)

平成25年6月4日

公益財団法人 ニッセイ緑の財団

1. 事業報告

(1) 事業概要

概 要

平成24年度は財団設立20年目の節目であり、今までの活動を振り返るとともに平成25年度からの新たな10年間を見据えた取組が求められる年であった。

公益財団法人として、将来に亘る持続可能な健全な森づくりを内外に示すべく、森づくりの基本方針を20年の実践を踏まえて取りまとめた。また、東日本大震災への復興支援も長期的な視点に立ち、今後の財団事業の進むべき方向に資する形で、「**森林を愛する人づくり事業**」を中心にした取組を実施した。

「**森林づくり事業**」では、現地視察や事業体との良好な関係構築に財団体力を傾けることで、森の現況把握を進め、成林可能性ランク運営の充実や活用度の分類を進め、各森の属性分類に応じた適時適切な施業体系の確立に努めた。当面は最後となる植樹を北海道支笏湖で実施した。また、全国の森を属人で「森林経営計画」を策定することを通じて、全国の森の見える化を進めた。

公有林においても協定更新期を迎える中で、成林の目処が立つまで更新するという基本方針を確立した。

「**森林を愛する人づくり事業**」では、地方自治体等の協力を得て、地域の方々と一体となった活動を一層進めるとともに、“ニッセイの森”の成長に応じて、植栽木を抜き伐る除伐2類や保育間伐のボランティア活動を安全に実施する運営の確立に努めた。森林環境教育では、宮城県のNPO等の協力を得て、昨年度に引き続き、被災した親子を招待する森林教室を拡充する形で開催した。また、知識学習プログラムとしてのニッセイ緑の環境講座等については、財団が支援している学校林の取組や防災・減災プログラムを実践する被災地の小学校や地域の取組をひろく知ってもらうことを目的に、森と子ども達をテーマに仙台市でシンポジウムを開催した。

以上のように、内外の環境が大きく変化する中で、従来事業について長期的視点に立った見直しに着手するとともに公益財団法人として新たな取組に挑戦し、実行した一年であった。

（もり） 森林づくり事業

I 行政機関との契約・協定等に基づく森林づくり

1 「法人の森林」制度に基づく森林づくり事業

将来にわたる持続可能で健全な森づくりを目指していく上で、各々の森の現況把握に努め、成林可能性ランクの的確な洗い替え、ランクに応じた施業／調査の考え方の進化に取り組むとともに、森の立地条件等を基準に活用度分類も段階的に進めてきた。

(1) 生育状況の継続的な把握と成林可能性ランクの洗い替え

ア Aランクの森についても現況の把握に努め、林齢や将来林型に応じて施業を実施し、B・Cランクの森については極力財団で直接視察のうえ、施業や病虫害・獣害対策を方向性や優先度を定めて実施し、上位へのランクアップを図った。成林可能性ランクの上方シフトを図るために取組んだ2点の改善目標の達成状況は、以下のとおり。

(ア) 林相調査や保育間伐のタイミングでの施業の方向性の把握による的確なランク判定林相調査3カ所については、詳細な現況把握の結果、全て現行ランクを維持し、Aランクについては今後の安定的な推移が確認され、B1ランクについてはAランク復帰のための要件が明らかになった。また、保育間伐及び除伐2類の5カ所についても、全てAランクを維持し、今後の安定的な推移が確認された。

(イ) 成林可能性に影響する施業の慎重な判断

① 下刈終了時期

平成24年度の下刈卒業4カ所については、全てAランクを維持。

② ツル切りの施業判断

事業体と連携して計画に追加した一カ所を含む6カ所については全てAランクを維持。

③ 除伐の実施内容と時期

適地適木の観点から天然更新した高木性有用木を活かし、針広混交林への自然な移行を進める中で、更新木の優劣がある程度判定できる時期まで除伐を見合わせた事例が増加し、計画は13カ所だったが、実施は9カ所となった。

その結果、成林可能性ランクは下記の通りとなり、Aランクの森の占有率は82%から84%へ上昇した。

成林可能性 ランク	分類の考え方	H23	H23→H24	H24
		年度末	変更数	年度末
A	成林可能な森	154	Aのまま：154 B3→A：3	157
B	経過観察が必要な森 (ギャップの存在、獣害リスク考慮)	27	—	25
B 1	当面注視する森 (現段階で特定の追加施業不要)	22	B1のまま：20 新規：1 C→B1：1 B1→B2：2	22
B 2	通常の施業に加え、更新補助作業等を必要とする森	1	B2のまま：1 B1→B2：2	3
B 3	直近の事業体の報告では、成林可能性ランクの判断情報が不足する森	4	B3→A：3 B3→C：1	0
C	改植の必要な森	5	Cのまま：4 C→B1：1 B3→C：1	5
計	—	186	ランクアップ：4 ランクダウン：3 新規：1	187

※食害等の被害を受けていない場合でも、防護柵を設置した箇所についてはBランクとしている。
(例：今年度植樹の「支笏湖の森」については、植樹後直ぐに防護柵を設置したため食害は受けていないが、今後の経過観察が必要ということで、B1ランクとしている。)

(2) 活用度による森の分類

ボランティア活動や森林環境教育の場として活用可能かどうかを示す「森の活用度」による森の分類を進めた。

分類結果

分類	各分類の定義	H23 年度	変更数	H24 年度
◎	下記①と②を両方満たす森 ①森までのアクセス(距離・林道の状況)及び傾斜等の立地条件が良い ②自治体の協力等地域一体での森林づくりが期待できる	21	◎確定：17 暫定◎のまま：3 △へ：1 新規：1	25 (確定22 暫定3)
○	上記①を満たす森	30	○確定：9 暫定○のまま：18 ◎へ：3	28 (確定10 暫定18)
△	上記①を満たさない森	97	△確定：15 暫定△のまま：80 ◎へ：1 ○へ：1	96 (確定16 暫定80)
合計		148		149 (確定48 暫定101)

(3) 80年に亘る造林義務履行のために今後必要となる施業費用想定を精緻化

これまで植栽年度毎に想定していた施業費用想定を、個々の植栽地別の費用想定に洗い替えた。その結果、前述した除伐実施時期の後ろ倒しやそれと呼応した枝打ち（シカの食害防止の観点も含む）実施時期の後ろ倒しによって、今後必要となる費用想定を精緻化、平準化が図られるとともに、積み立てている森林整備基金の範囲内で収まる事を再確認した。

(4) 林業事業体との管理委託契約書の締結による、連携と信頼関係の強化

全ての林業事業体との「“ニッセイの森”管理委託契約」締結による林業事業体と財団の連携強化を図った。この管理委託契約に基づき、平成24年度末には「平成25年度運営について」を送付し、各々の担当者を確認するとともに、施業予定や育樹ボランティア活動予定を確認する等、連携強化に努めた。
(締結状況は下表の通り)

【管理委託契約の締結状況】

事業体数	1 2 2	割合 (%)
契約書送付後、即契約締結	1 1 4	9 3. 4
契約書送付し督促・交渉後に締結	5	4. 0
廃業等による事業体変更等*	3	2. 5

※居住制限区域内の事業体1団体を含む

【平成24年度の各森に対する施業】注) 森づくりボランティアによる実行は含まない

(1) 保育・・・A・B1の森への対応

植栽木の生育状況等、森林の現況に応じた保育・保護を適時適切に実施した。

ア 下刈・ツル切 (35箇所)

植栽木の成長を妨げる雑草木等の刈払い及びつる切りを、繁茂状況等に応じて実施した。現地視察や報告から、下層植生が繁茂している箇所については2回刈を実施した。事業計画策定時は植栽箇所全域で2回刈を行う想定をしたが、下層植生の繁茂状況から2回刈が必要な箇所が限られたため、事業計画策定時より延べ施業面積は減少した。

イ 除 伐 (6箇所)

林齢10年生以上の箇所において、高木性有用木を残しつつ植栽木等育成目的樹種と競合する他の樹木を除去する作業を実施した。事業計画策定時は13箇所での実施を予定したが、視察や調査報告により把握した生育状況に鑑みて約4割の箇所での実施とし、2箇所は除伐2類に変更した。

ウ 枝打ち (4箇所)

林齢15年生程度の箇所（針葉樹林）において、植栽木の形質向上や林内の環境改善、病虫害からの予防等を目的として、枝を除去する作業を実施した。事業計画策定時は7箇所での実施を予定したが、生育状況に鑑みて約半数の箇所での実施とした。

エ 除伐2類（3箇所）

植栽木間の競争が激しく相互の成長に有害となる箇所において、植栽木の本数調整伐である除伐2類を実施した。今年度は「井手の森（2箇所）」と、保育間伐実施予定であった「熱海の森」で実施し、除伐実施予定であった4箇所を来年度以降の除伐2類実施が望ましいと判断した。

オ 保育間伐（2箇所）

除伐後に樹冠が混み合ってきて、植栽木間の競争が激しく相互の成長に有害となってきた箇所において、保育間伐を2箇所で行った。除伐2類とともに実績が少なく、課題や費用に関する知見を蓄積し、今後の実施方法の統一と費用想定の見直しを図る必要があるとされる。

カ その他

雪害については被害を受けた森が無く実施しなかった。また、獣害から保護するための防護柵設置や薬剤散布及び保護テープ設置を下記の通り実施した。

対象地	植樹年度	実施内容	対象地	植樹年度	実施内容
松前福島の森 （北海道）	H11	野鼠駆除 （薬剤散布）	支笏湖の森 （北海道）	H24	鹿防護柵の設置
桐生の森 （群馬県）	H7, 8	獣害保護テープ設置			

（2）追加的保育施業

1箇所（幌加内の森）で高木性有用木の稚幼樹の育成を目的とした稚樹刈り出し等の作業を行う更新補助作業を実施した。来年度以降も更新補助作業の要否を慎重に判断した上で実施するよう努める。

また、垂水の森で「もやかき」を計画していたが、事業体と連携して不要であると判断し、実施しなかった。

(3) Cの森への対応

今年度は「富士の森（第5回）」で改植を実施し、CからB1へランクアップした。
 「足寄の森」では平成26年度の改植を計画している。また、「安心院の森」「安芸の森」「一宮の森」については、成林可能性を慎重に判断し、今後の対応を検討する必要がある一方で、「富士の森（第8回）」は視察の結果B3からCへランクダウンし、Cの森は5箇所となった。

○改植が必要なCの森での対応と成林可能性ランクの洗い替え

名称	所在地	植栽年度	面積 (ha)	原因	対応		成林可能性 ランク
					防護柵設置	改植	
①富士の森 (第5回)	静岡県 富士市	H9	1.26	ニホンジカ による食害	平成23年 設置済	平成24年 実施済	C → B1
②足寄の森	北海道 足寄町	H21	4.00	寒風害に よる枯損	不要	平成26年 予定	C
③安心院の森	大分県 宇佐市	H12	1.39	ニホンジカ による食害	対応時期については 実施有無を含めて検討		C
④安芸の森	高知県 安芸市	H13	2.09	〃			C
⑤一宮の森	兵庫県 宍粟市	H15	2.53	〃			C
⑥富士の森 (第8回)	静岡県 富士市	H12	1.46	複合的要因 による			B3 → C
H24年度 合計	5箇所		11.47				

(4) 植樹

下表の通り、1箇所、約3ヘクタールに約8千本の植樹を行った。植栽樹種は適地適木に留意しつつ、広葉樹も取り入れた多彩な森林づくりを推進し、環境・生態系の保全と森林資源の充実に努めた。

森名	所在地	面積 (ha)	法令 指定等	植栽 樹種	植樹本数 (本)	広葉樹 割合 (%)	植樹 完了 月
支笏湖の森	北海道千歳市 西森	3.23	・水源涵養保安林	アカエゾマツ・ミスナラ・ カンワ・イタヤカエデ	8,080	86	H24/ 9月
合計 (累計)	1箇所 (187箇所)	3.23 (436)	---	4樹種	8,080 (131万)	86 (36)	—

(5) 生育状況等の調査

適切な森林づくりに役立てるため、関係先（森林管理署・林業事業者等）の協力を得て、森林の現況の調査を行った。

ア 林相調査（3箇所）

林齢約10年超の除伐を終えた森林を中心に、植栽木の生育状況など林相の現況把握を行った。林相実施状況が後ろ倒しになっているのは、生育状況から除伐を先送りした箇所がいくつかあるためである。2回目の林相調査を開始する平成30年代後半からは年度の実施箇所数が平準化されると予測される。

<H24年度 林相実施状況>

植樹年度	林齢	実施箇所数
H6年度	19	1*
8年度	17	1
13年度	12	1
合計 [参考] (前年度)		3箇所 (16箇所)

※「阿久根の森」で2回目の林相調査を実施。右表では重複カウントしない。

<H19年度～H24年度累計 林相実施状況>

植樹年度	林齢	(植樹 箇所数)	実施済 箇所数	実施 割合(%)
H5年度	20	18	18	100.0
6年度	19	18	18	100.0
7年度	18	15	15	100.0
8年度	17	16	15	93.7
9年度	16	14	12	85.7
10年度	15	13	11	84.6
11年度	14	14	12	85.7
12年度	13	12	10	83.3
13年度	12	13	3	23.0
14年度～	～11	40	0	0.0
合計		173	114	65.8

注) 改植実施(予定)の14箇所は、分母分子に含めずに算出

イ 施業要否確認調査 (55箇所)

林相調査並びに保育施業対象以外の森の中で、成林可能性ランク・森の活用度から判断して必要な箇所において施業要否確認を行い現況把握に努めた。

平成24年度接点なし 56		成林可能性 ランク	箇所数	直近3年間 (平成22～24年度)		箇所名 (平成25年度計画)
(参考) 平成24年度接点あり				接点あり	接点なし	
新植	1	A	49	45	4	宍粟 (施業要否確認) 琴南 (施業要否確認) 鹿足 (枝打実施) 九重 (施業要否確認)
下刈・ツル切	35					
除伐	6					
枝打	4					
除伐2類	3					
保育間伐	2					
その他 (獣害対策)	3					
更新補助作業	1					
林相調査	3					
施業要否確認	55					
財団現況確認	53	C	3	1	2	安心院 (今後の対応検討) 一宮 (今後の対応検討)
合計 (※)	131					合計

(※)重複があるため、単純合計とは合わない

注) 直近3年間で接点なしの森は6箇所、いずれも平成25年度に現況確認予定 (改植予定箇所「Cの森」を除く)

2 公有林における森林づくり事業

森林づくり協定を締結している5箇所（宮城県・埼玉県・石川県・富山県・京都府）について下刈を実施した。今年度、石川県の協定が平成24年9月で期限を迎えたが、成林の目処がつく期間まで見守るため、協定期間3年半の更新を行った。また、京都府では「“ニッセイの森”友の会」が締結していた協定を、施業管理の一本化のために当財団が引き継いだ。

<公有林（5箇所）>

名称	所在地	協定等相手先	協定面積 (ha)	法令指定等	植樹 (本)	協定期間	今年度施業	備考
利府の森	宮城県 宮城郡 利府町	・宮城県	5.0	・水源涵養 保安林	500	H22/8 ～H27/7 (5年間)	下刈 (2回刈)	・植栽面積は0.4ha ・植栽地以外は 森林教室のフィールド として活用
美の山の森	埼玉県 秩父郡 皆野町	・埼玉県 ・皆野町	3.3	・埼玉県立 長瀨玉淀 自然公園 普通地域	5,340	H20/3 ～H26/3 (6年間)	下刈 (2回刈)	・協定面積全てに植栽
内灘の森	石川県 河北郡 内灘町	・石川県	3.6	・飛砂防備 保安林 ・保健保安林	2,500	H24/10 ～H28/3 (3年半)	下刈 (2回刈)	・前世樹を残し、 疎の部分に植栽 ・今年度協定更新
桂湖の森	富山県 南砺市	・富山県	2.2	・白山国立公園 第三種 特別地域 ・土砂流出防備 保安林	2,070	H24/4 ～H27/3 (3年間)	下刈 (2回刈)	・植栽面積は0.4ha ・H23年度未更新
京丹波の森	京都府 船井郡 京丹波町	・京都府 ・京丹波町 ・京都モデル フォレスト協会 ・和田区山林 管理会	0.4	—	330	H24/4 ～H29/3 (5年間)	下刈	・協定面積全てに植栽 ・“ニッセイの森”友の会 締結の協定を引き継ぎ ・モデルフォレスト運動発展 に先導的な役割として 貢献したとして、 「京都モデルフォレスト協会 理事長表彰」を受賞

Ⅱ 行政機関・民間団体等による森林づくりへの支援

1 環境造林支援事業

行政機関・民間団体等による埋立地や公園等、公益性の高い場所での事業で、主に森林ボランティア活動に参画している箇所について、資金支援等を実施した。

(1) 全国の森林づくりボランティア活動場所の補完

【H24年実施箇所】

支援先	実施地域	実施団体	開催日	内容(参加者数は日本生命参加者)
大沼ふるさとの森づくり 【台風被害跡地】	北海道 七飯町	大沼ふるさとの 森づくりの会	H24. 10.6	台風被害を受けた森の再生を目的とした植樹への経費支援(25万円)及び参加協力(49名)。
戸田川緑地なごや西の森づくり 【公園】	愛知県 名古屋市	名古屋市 他	H24. 10.7	名古屋市の緑地における「なごや西の森づくり構想」の育樹に150名参加。育樹のため助成不要。
大阪府「共生の森づくり」 【産業廃棄物埋立処分場跡地】	大阪府 堺市	大阪府 他	H25. 3.2	堺市の産業廃棄物埋立処分場跡地での植樹への経費支援(30万円)及び参加協力(75名)。

(2) 森づくり団体等への助成

従来から地域一体となった森林づくりに加え、平成24年度より学校林や、学校林サミット、平成23年度シンポジウム開催で関係野深い鳥取県で開催される全国植樹祭への助成や協賛を実施した。

ア 地域一体となった海岸林造成の取組に対する助成

支援先	実施地域	実施団体	開催日	内容(参加者数は日本生命参加者)
奈多海岸林植樹 【マツクイムシ被害地】	福岡県 福岡市	奈多植林会	H25. 3.3	マツクイムシによる被害海岸林の再生保全活動への経費支援(10万円)及び参加協力

イ 学校林等への支援

支援先	実施地域	実施団体	開催日	内容
「学校林・遊々の森」 全国子どもサミット	京都府 京都市	近畿中国森林 管理局	H24. 8.6	全国から小学校20校が参加し、森林体験活動発表を実施するサミットへの協賛(10万円)
松陵西小学校 【学校林】	宮城県 仙台市	宮城県森林 インストラクター 協会	通年 (総合的 な学習)	学校林を自然観察学習フィールド、防災・減災教育フィールドとして活用するための整備経費支援(15万円)。

ウ 全国植樹祭への協賛

支援先	実施地域	実施団体	開催日	内容
第64回全国植樹祭 とっとり2013	鳥取県 南部町他	(公社)国土緑 化推進機構	H25. 5.26	平成23年度のシンポジウムでご協力頂いた鳥取県 での全国植樹祭開催に対し協賛(50万円)。

(3) その他

海外での過去の取組の現状把握に努めたが、時間の経過とともに事業実施機関との連携が困難となり、生育状況や取組成果の把握はできていない。

（もり） 森林を愛する人づくり事業

I 体験型プログラムの提供

1 森林づくりボランティア活動

森林やその有する効用性についての一般の方々の理解や森林づくりという社会貢献活動への参加を促すことを目的とし、森林づくり活動の機会提供を行った。活動に当たっては、「“ニッセイの森”友の会」のほか、地域の住民・自治体・森づくり団体・日本生命の喜楽会（OB会）等へ積極的な参加呼びかけ、地域と一体となった活動の展開に努め、更には森と暮らしの講話や木工教室の開催等、森林体験プログラムを併せて実施することで、参加者の拡大を図った。

その結果、1回あたり大量のボランティア参加が可能な植栽や下刈が減少し、少人数での開催となる除伐2類や間伐が増加してくる中に合って、対前年並みの参加者数を確保した。

(1) 「法人の森林」（“ニッセイの森”）

ア 植樹

植樹体験の機会提供を目的として、以下の1箇所での植樹活動を実施した。

開催地	開催日	参加者数 (内 一般参加)
支笏湖の森 (北海道)	H24. 9. 8	161名 (18名)

イ 保育

下刈や除伐・枝払いへの参加機会の提供を目的として、以下の13箇所で開催した。また、「関川の森」、「大多喜の森」で初めて除伐2類の活動を実施した。

開催地	施業	開催日	参加者数(内 一般参加)
土佐山田の森 (高知県)	除伐	H24. 5. 26	30名
豊橋の森 (愛知県)	下刈	H24. 7. 28	98名 (26名)
山形の森 (山形県)	下刈	H24. 9. 1	111名 (4名)
筑前の森 (福岡県)	下刈	H24. 9. 15	177名 (20名)
関川の森 (新潟県)	除伐2類	H24. 9. 29	60名 (1名)
小田深山の森 (愛媛県)	枝払	H24. 10. 13	29名
大船渡の森 (岩手県)	間伐	H24. 10. 13	36名
飛鳥の森 (奈良県)	除伐	H24. 10. 20	47名 (11名)
都城の森 (宮崎県)	間伐	H24. 10. 20	29名
大多喜の森 (千葉県)	除伐2類	H24. 12. 1	29名
高野の森 (和歌山県)	枝払	H24. 12. 1	43名
三和の森 (広島県)	枝払	H24. 12. 8	34名
加茂川の森 (岡山県)	枝払	H24. 12. 8	47名

計 13 箇所 770名 (62名)

(2) 公有林

下記4箇所を下刈を実施した。

保育 (下刈)

開催地	開催日	参加者数(内 一般参加)
内灘の森 (石川県河北郡内灘町)	H24. 7. 28	49名 (28名)
美の山の森 (埼玉県秩父郡皆野町)	H24. 8. 4	138名 (54名)
桂湖の森 (富山県南砺市)	H24. 8. 25	70名 (12名)
京丹波の森 (京都府船井郡京丹波町)	H24. 8. 25	43名 (14名)
合計 4箇所		300名 (108名)

(3) 環境造林支援事業

《参加者数等について、9ページ参照》

2 森林環境教育

平成23年度試行した、宮城県での「親子DE森林教室」は平成24年度には2回実施し、今後も継続実施が可能な事業として確認できた。

一方、手入れが不十分な「都市近郊林」の整備と併せた森林環境教育展開の可能性を検討したが、関係自治体の方針転換により実施不可能となった。

(1) 成林した森林を活用した取組

ア ニッセイの森を活用した森林教室の実施

継続したイベントの開催が復興支援になるとの地域からの要望を受けて、NPO法人宮城県森林インストラクター協会・一般社団法人地球の楽好の協力のもと、被災地(宮城県)の親子を招待し、利府の森をフィールドとした「親子DE森林教室」を実施した。

実施日	場 所	参加者数	内 容
H24. 7. 7	利府の森 (宮城県利府町)	32名	・ネイチャークラフト(雨天のため林内には入れず)
H24. 10. 28	利府の森 (宮城県利府町)	39名	・作業体験(歩道作り・枝打ち・樹名板設置)、生き物探しビンゴ、 ネイチャークラフト

イ 「ニッセイ森の探検隊」の活動支援

日本生命主催の「ニッセイ森の探検隊」(子どもと親を対象とした森林学習と施業体験をセットにしたプログラム)の運営を支援した。

実施日	場 所	参加者数	内 容
H24. 7. 21	・兵庫県立三木山森林公園 ・三木ホースランドパーク	58名	・森林観察、施業体験(枝払い)、木工教室
H24. 8. 26	・富士自然教育センター ・白糸財団区有林内	42名	・森林観察、施業体験(間伐)

(2) 「ドングリ学校」の開催

埼玉県秩父郡皆野町の全小学校(4校)の児童及び教師・父兄の方々に、平成21年度作成のポット苗木を美の山公園へと植樹した。

実施日	場 所	参加児童	内 容
H24. 4. 25	埼玉県秩父郡皆野町立 皆野小学校・国神小学校・ 金沢小学校・三沢小学校(計4校)	4年生(92名)	・美の山公園への植樹

3 森林に対する間接的なふれあい機会の提供

ホームページでのボランティア活動開催結果の提供は継続して実施した。全国森林づくりMAP等、各森の成育状況や写真等のホームページ上での情報公開等については引き続き一層の充実化を図る。

活動参加者への間伐材を利用したノベルティグッズの配布等、森の恵みの活用については、幅広い活用が困難で具体的な成果は上げられなかったが、今後の課題とする。

Ⅱ 知識学習プログラムの提供

1 ニッセイ緑の環境講座

平成23年度より実施している東京・大阪と地方都市開催のスタイルを踏襲した。なお、岩手県での開催を計画していたが、連携団体が多く集客が期待できる仙台市での開催となった。

(1) 都市部での開催

平成13年度より、公益社団法人 日本環境教育フォーラムと連携して、森林づくりに関心を持つとともに実践している団体や個人を主な対象に、具体的な事例等を通じて課題を共有化し、より良い森林づくりについて考える講座を開催している。

平成24年度は、「森林環境教育と“暮らし”～地域での実践（持続可能な暮らしと森の恵み）～」と題して東京、大阪で各1回開催し、延べ95名の参加を頂いた。

実施日	テーマ・プログラム	内容	事例発表	参加者数
H25. 1.28 (東京)	<p>「森林環境教育と“暮らし”</p> <p>～地域での実践</p> <p>（持続可能な暮らしと森の恵み）～</p> <p>○事例発表：高橋 祐二 氏 (北海道下川町森林総合産業推進課)</p> <p>○パネルディスカッション(以下パネラー)</p> <p>・高橋祐二氏(北海道上川郡下川町森林総合産業推進課主幹)</p> <p>・木平英一氏(株式会社ディーエルディー)</p>	<p>森の恵みの再認識を中心に、自然と人間の暮らしがいかに向き合うのかを考え、震災からの復興の中でいかに具体化していくのかを学ぶ。</p>	<p>北海道 下川町の 取組</p>	50名
H25. 2.4 (大阪)	<p>・大場隆博氏(NPO 法人日本の森バイオマスネットワーク副理事長)</p> <p>・八百屋市男氏(林野庁森林整備部計画課森林総合利用・山村振興室長)</p> <p>・寺村 智氏(林野庁森林整備部計画課森林総合利用・山村振興室森林環境教育推進官)</p> <p>(八百屋氏は東京のみ、寺村氏は大阪のみの出席)</p> <p>注)組織、役職は開催当時のもの</p>			45名

<後援> 林野庁、<協力> 公益社団法人日本環境教育フォーラム

(2) 地方での開催

連係団体の協力と、テーマに沿う形で学校係者の参加を目指して宮城県内の全小中学校へ学校林アンケートと参加推奨を行う事で、200名の参加を頂いた。

実施日	シンポジウムテーマ・プログラム	団体発表	内容	参加者数
H25. 1. 12	<p><u>「東北の地から(力)全国に発信する森と子ども達とのいい関係」</u></p> <p><u>～森と遊び、森に学び、森に癒され、森に守られ、そして森と暮らす～</u></p>	<p>ONPO法人宮城県森林インストラクター協会 企画部長:木村 健太郎 氏</p> <p>○石巻市立橋浦小学校 校長:小山 教夫 氏</p> <p>○一般社団法人地球の楽好 理事長:千葉 透 氏</p> <p>ONPO 法人日本の森バイオマスネットワーク 理事長:佐々木 豊志 氏</p> <p>○ネットワーク宮城 代表:阿部 寛行 氏 (阿部氏はパネルディスカッションのみ)</p> <p>注)組織、役職は開催時のもの</p>	<p>プログラム</p> <p>①木工教室、展示、スタンプラリー</p> <p>②復興支援事業の団体/学校の発表</p> <p>③パネルディスカッション</p>	200名

<後援>

林野庁、公益社団法人国土緑化推進機構、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、河北新報社、東日本放送、(株)日本林業調査会、日本生命仙台支社

2 日本生命財団ワークショップ

公益財団法人 日本生命財団が毎年開催している「環境・緑化」分野での市民団体、関係省庁、地方自治体、研究機関等を対象にしたワークショップにおいて、テーマ・内容が当財団事業と関連性がある場合に共同開催を行うこととしている。

平成24年度は、下記の通り、166名の参加を頂いた。

- テーマ:「農業・農村の危機と再生への提言」— 地域連携のための政策論 —
- 開催日:平成25年2月2日(土)
- 場所:一橋大学
- 主催:日本生命財団、「持続可能な農業・農村の再構築をめざす」研究会、ニッセイ緑の財団
- 共催:一橋大学自然資源経済論プロジェクト
- 後援:環境省、農林水産省、日本環境会議

被災地復興支援

1 体験型プログラムの提供

(1) 森林づくりボランティア活動（12頁参照）

岩手県にある“ニッセイ大船渡の森”にて、森林施業ボランティア活動を実施した。

(2) 森林環境教育（13頁参照）

昨年度同様、NPO団体など地元の団体・自治体の協力を得て、被災地親子を対象とした森林教室を、ニッセイ利府の森にて7月と10月の2回実施した。

2 ニッセイ緑の環境講座(15頁参照)

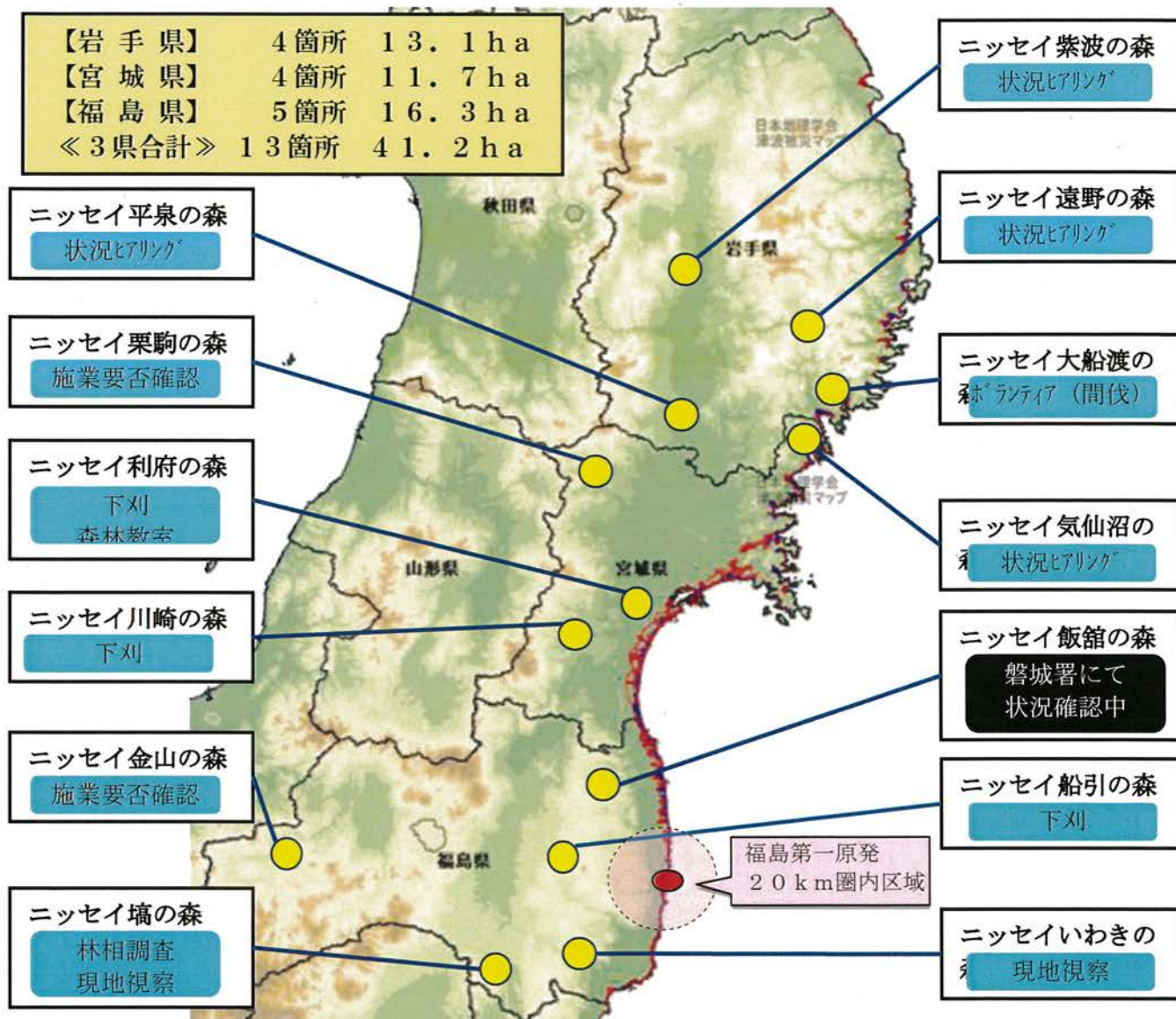
ニッセイ緑の環境講座として実施する、地方都市開催のシンポジウムを、震災復興支援事業を展開する団体の取組発表を中心に仙台市で開催した。参加団体同士の繋がりを作るとともに、橋浦小学校等の教育機関や教育関係者ともつながりができ、今後の事業展開に結びつく関係構築に成功した。

3 学校林の支援(15頁参照)

東日本大震災後以降、学校に隣接する山林の防災上の重要性が高まり、学校林が注目を集める中、NPO法人宮城県森林インストラクター協会と協力し、宮城県の松陵西小学校（現仙台市立泉松陵小学校）に対して資金支援・活動支援を実施した。

4 森林づくり事業(3頁参照)

被災3県(岩手県・宮城県・福島県)には13箇所の森があるが、居住制限地域となっている「飯館の森」以外の12箇所において、現地視察・施業・状況のヒアリングを下記の通り実施した。



以上

(2) 庶務事項

1 理事会

(1) 第5回理事会

○平成24年6月7日開催（於 法曹会館）

○議事

【決議事項】

第1号議案 平成23年度事業報告並びに決算案承認の件

第2号議案 第3回評議員会招集の件

【報告事項】

第1号議案 内部統制システムの件

以上決議事項第1号議案から第2号議案は承認可決され、報告事項第1号議案は報告の上、了承された。なお、代表理事、業務執行理事より、定款第29条第3項に基づく自己の職務の状況報告があった。

(2) 第6回理事会

○平成24年6月28日開催（決議省略）

○議事

第1号議案 理事の報酬等配分の件

代表理事が上記1議案を提案し、理事全員から書面により同意の意思表示を得、監事全員から書面により異議がない旨の意思表示を得たので、第1号議案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

(3) 第7回理事会

○平成25年3月4日開催（決議省略）

○議事

第1号議案 第4回評議員会招集の件

代表理事が上記1議案を提案し、理事全員から書面により同意の意思表示を得、監事全員から書面により異議がない旨の意思表示を得たので、第1号議案を承認可決する旨の理事会決議があったものとみなされた。

(4) 第8回理事会

○平成25年3月19日開催（於 法曹会館）

○議事

【決議事項】

第1号議案 平成24年度 森林整備基金取り崩しの件

第2号議案 平成24年度 収支予算補正の件

第3号議案 平成25年度 事業計画の件

第4号議案 平成25年度 収支予算の件

第5号議案 内部統制システムの一部改正の件

以上決議事項第1号議案から第5号議案は承認可決された。なお、代表理事、業務執行理事より、定款第29条第3項に基づく自己の職務の状況報告があった。

2 評議員会

(1) 第3回評議員会

○平成24年6月26日開催（於 法曹会館）

○議事

【決議事項】

第1号議案 理事の選任の件

第2号議案 役員及び評議員の報酬等の件

【報告事項】

第1号議案 平成23年度 事業報告並びに決算の件

第2号議案 内部統制システムの件

以上決議事項第1号議案から第2号議案は承認可決され、報告事項第1号議案から第2号議案は報告の上、了承された。

(2) 第4回評議員会

○平成25年3月19日開催（於 法曹会館）

○議事

【報告事項】

第1号議案 平成24年度 森林整備基金取り崩しの件

第2号議案 平成24年度 収支予算補正の件

第3号議案 平成25年度 事業計画の件

第4号議案 平成25年度 収支予算の件

第5号議案 内部統制システムの一部改正の件

以上第1号議案から第5号議案は報告の上、了承された。

3 評議員・役員等の異動

(1) 理事の異動

○平成24年6月26日付にて、鈴木 正一郎氏、筒井 迪夫氏、小林 研一氏が理事を辞任し、平成24年6月26日開催の評議員会において、篠田 和久氏、蔵治光一郎氏、小林 一生氏を理事に選任した。（任期：平成25年6月定時評議員会終結の時まで）

4 登記、届出事項等

(1) 登記事項

平成24年7月6日 理事の変更（就任並びに辞任）登記を行った。

(2) 内閣府への届出・提出事項

平成24年6月27日 事業報告等に係る書類を提出した。

平成24年7月 6日 理事の変更届出を行った。

平成25年3月22日 事業計画書等に係る書類を提出した。

5 寄付金の受入れ

平成24年6月15日 ニッセイの森友の会より、公益目的事業資金として
500万円の寄付金を受け入れた。

平成24年7月 9日 日本生命保険相互会社より、指定正味財産として
12,200万円の寄付金を受け入れた。

6 その他

平成25年3月 5日 公益社団法人京都モデルフォレスト協会より、京都モデル
フォレスト協会理事長表彰を受賞

公益財団法人 ニッセイ緑の財団

第20回(平成24年度)

財務諸表等並びに財産目録

貸借対照表

正味財産増減計算書

財務諸表に対する注記

附属明細書

財産目録

貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,536,500	1,014,690	521,810
未収金	8,000	0	8,000
前払金	288,345	252,908	35,437
未収利息	6,192,290	6,202,987	▲ 10,697
貯蔵品	447,930	810,754	▲ 362,824
仮払金	0	1,836	▲ 1,836
流動資産合計	8,473,065	8,283,175	189,890
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当投資有価証券	1,489,930,897	1,493,247,145	▲ 3,316,248
基本財産引当普通預金	10,069,103	6,752,855	3,316,248
基本財産合計	1,500,000,000	1,500,000,000	0
(2) 特定資産			
森林整備基金引当投資有価証券	319,264,485	449,738,130	▲ 130,473,645
森林整備基金引当定期預金	115,950,000	0	115,950,000
森林整備基金引当普通預金	7,077,002	3,553,357	3,523,645
森林整備基金引当資産計	442,291,487	453,291,487	▲ 11,000,000
森林環境保全特定引当普通預金	28,500,000	28,500,000	0
退職給付引当普通預金	16,816,700	12,970,833	3,845,867
森林資産	636,438,315	605,158,764	31,279,551
看板等構築物	4	4	0
特定資産合計	1,124,046,506	1,099,921,088	24,125,418
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	493,757	224,245	269,512
什器備品	186,061	272,163	▲ 86,102
電話加入権	224,952	224,952	0
出資金	20,000	20,000	0
敷金	6,457,300	6,457,300	0
その他固定資産合計	7,382,070	7,198,660	183,410
固定資産合計	2,631,428,576	2,607,119,748	24,308,828
資産合計	2,639,901,641	2,615,402,923	24,498,718
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,701,858	1,833,446	868,412
預り金	186,017	158,853	27,164
賞与引当金	1,117,834	1,115,833	2,001
流動負債合計	4,005,709	3,108,132	897,577
2 固定負債			
退職給付引当金	16,816,700	12,970,833	3,845,867
固定負債合計	16,816,700	12,970,833	3,845,867
負債合計	20,822,409	16,078,965	4,743,444
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	2,607,229,802	2,586,950,251	20,279,551
(うち基本財産への充当額)	(1,500,000,000)	(1,500,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,107,229,802)	(1,086,950,251)	(20,279,551)
2 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	11,849,430	12,373,707	▲ 524,277
(4)	(4)	(4)	(0)
正味財産合計	2,619,079,232	2,599,323,958	19,755,274
負債及び正味財産合計	2,639,901,641	2,615,402,923	24,498,718

正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

No.1(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	10,509,237	13,450,944	▲ 2,941,707
基本財産受取利息振替額	10,509,237	9,950,944	558,293
基本財産受取利息	0	3,500,000	▲ 3,500,000
特定資産運用益	1,000,617	2,403,604	▲ 1,402,987
森林整備基金受取利息振替額	1,000,617	2,403,604	▲ 1,402,987
森林整備基金受取利息	0	0	0
退職給付引当受取利息	0	0	0
受取補助金	6,149,567	14,060,281	▲ 7,910,714
受取造林補助金振替額	6,149,567	14,060,281	▲ 7,910,714
受取寄付金	65,793,605	45,880,944	19,912,661
受取寄付金振替額	60,793,605	40,880,944	19,912,661
受取寄付金	5,000,000	5,000,000	0
森林整備基金取崩収入振替額	11,000,000	13,000,000	▲ 2,000,000
森林整備基金取崩収入振替額	11,000,000	13,000,000	▲ 2,000,000
森林環境保全特定引当預金振替額	28,500,000	28,500,000	0
森林環境保全特定引当預金振替額	28,500,000	28,500,000	0
雑収益	16,771	93,094	▲ 76,323
雑収益	16,771	93,094	▲ 76,323
経常収益計	122,969,797	117,388,867	5,580,930
(2) 経常費用			
事業費	105,950,080	99,572,425	6,377,655
(造林事業費以下計)	32,746,767	28,419,001	4,327,766
造林事業費	9,824,663	4,773,308	5,051,355
国内植樹事業費	4,628,676	3,448,427	1,180,249
海外植樹事業費	0	0	0
森林愛護普及啓発事業費	15,734,002	18,360,553	▲ 2,626,551
付帯事業費	0	0	0
期首棚卸高	810,754	895,861	▲ 85,107
期末棚卸高	▲ 447,930	▲ 810,754	362,824
構築物減価償却費	2,196,602	1,742,531	454,071
看板等減価償却費	0	9,075	▲ 9,075
(役員報酬以下計)	73,203,313	71,153,424	2,049,889
役員報酬	30,312,000	28,472,700	1,839,300
給与手当	19,099,680	18,665,631	434,049
退職給付等費用	3,156,106	1,877,333	1,278,773
福利厚生費	6,054,979	5,545,317	509,662
旅費交通費	1,367,279	1,303,487	63,792
通信運搬費	438,607	1,152,378	▲ 713,771
消耗什器備品費	272,137	601,098	▲ 328,961
消耗品費	287,854	211,429	76,425
修繕費	484,792	705,199	▲ 220,407
印刷製本費	34,200	136,724	▲ 102,524
光熱水費	247,972	182,346	65,626
賃借料	10,462,289	10,535,175	▲ 72,886
租税公課	900	93,850	▲ 92,950
寄付金	0	0	0
清掃費	431,115	387,639	43,476
渉外応接費	63,977	258,005	▲ 194,028
企画調査費	78,957	586,641	▲ 507,684
雑費	263,688	296,222	▲ 32,534
什器備品減価償却費	77,492	85,928	▲ 8,436
ソフトウェア減価償却費	69,289	56,322	12,967
管理費	17,558,502	15,987,241	1,571,261
役員報酬等	8,814,250	8,157,838	656,412
給与手当	2,216,510	1,800,429	416,081
退職給付費用	899,761	316,000	583,761
福利厚生費	1,015,613	853,786	161,827
会議費	1,108,364	1,238,965	▲ 130,601
旅費交通費	270,911	265,163	5,748
通信運搬費	48,732	45,434	3,298
消耗什器備品費	30,238	57,555	▲ 27,317
消耗品費	31,984	15,676	16,308
修繕費	53,864	78,356	▲ 24,492
印刷製本費	3,800	14,296	▲ 10,496
光熱水費	27,551	20,261	7,290
賃借料	1,162,480	1,170,575	▲ 8,095
業務委託費	1,707,300	1,707,300	0
租税公課	900	6,850	▲ 5,950
寄付金	0	0	0
清掃費	47,895	43,071	4,824
渉外応接費	63,975	136,638	▲ 72,663
企画調査費	8,773	10,328	▲ 1,555
雑費	29,292	32,914	▲ 3,622
什器備品減価償却費	8,610	9,548	▲ 938
ソフトウェア減価償却費	7,699	6,258	1,441
経常費用計	123,508,582	115,559,666	7,948,916
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 538,785	1,829,201	▲ 2,367,986
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 538,785	1,829,201	▲ 2,367,986

正味財産増減計算書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

No.2(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
分収造林契約解除益	14,508	192,360	▲ 177,852
受取寄付金振替額	1,426,844	7,234,136	▲ 5,807,292
経常外収益計	1,441,352	7,426,496	▲ 5,985,144
(2) 経常外費用			0
森林資産損失	1,426,844	7,234,136	▲ 5,807,292
固定資産除却額	0	0	0
経常外費用計	1,426,844	7,234,136	▲ 5,807,292
当期経常外増減額	14,508	192,360	▲ 177,852
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 524,277	2,021,561	▲ 2,545,838
一般正味財産期首残高	12,373,707	10,352,146	2,021,561
一般正味財産期末残高	11,849,430	12,373,707	▲ 524,277
II 指定正味財産増減の部			0
指定正味財産増加額	139,659,421	148,414,829	▲ 8,755,408
基本財産受取利息	10,509,237	9,950,944	▲ 558,293
森林整備基金受取利息	1,000,617	2,403,604	▲ 1,402,987
受取造林補助金	6,149,567	14,060,281	▲ 7,910,714
受取寄付金(日生)	122,000,000	122,000,000	0
一般正味財産への振替額(減少)	▲ 119,379,870	▲ 116,029,909	▲ 3,349,961
基本財産受取利息振替額	▲ 10,509,237	▲ 9,950,944	▲ 558,293
森林整備基金受取利息振替額	▲ 1,000,617	▲ 2,403,604	1,402,987
受取造林補助金振替額	▲ 6,149,567	▲ 14,060,281	7,910,714
寄付金振替額	▲ 62,220,449	▲ 48,115,080	▲ 14,105,369
森林整備基金取崩収入振替額	▲ 11,000,000	▲ 13,000,000	2,000,000
森林環境保全特定引当預金振替額	▲ 28,500,000	▲ 28,500,000	0
当期指定正味財産増減額	20,279,551	32,384,920	▲ 12,105,369
内 森林資産増加額	31,279,551	45,384,920	▲ 14,105,369
指定正味財産期首残高	2,586,950,251	2,554,565,331	32,384,920
指定正味財産期末残高	2,607,229,802	2,586,950,251	20,279,551
III 正味財産期末残高	2,619,079,232	2,599,323,958	19,755,274

正味財産増減計算書内訳表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

No.1(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	10,509,237		10,509,237
基本財産受取利息振替額	10,509,237		10,509,237
基本財産受取利息	0		0
特定資産運用益	1,000,617		1,000,617
森林整備基金受取利息振替額	1,000,617		1,000,617
森林整備基金受取利息	0		0
退職給付引当受取利息	0		0
受取補助金	6,149,567		6,149,567
受取造林補助金振替額	6,149,567		6,149,567
受取寄付金	48,235,103	17,558,502	65,793,605
受取寄付金振替額	43,235,103	17,558,502	60,793,605
受取寄付金	5,000,000		5,000,000
森林整備基金取崩収入振替額	11,000,000		11,000,000
森林整備基金取崩収入振替額	11,000,000		11,000,000
森林環境保全特定引当預金振替額	28,500,000		28,500,000
森林環境保全特定引当預金振替額	28,500,000		28,500,000
雑収益	16,771		16,771
雑収益	16,771		16,771
経常収益計	105,411,295	17,558,502	122,969,797
(2) 経常費用			
事業費	105,950,080		105,950,080
(造林事業費以下計)	32,746,767		32,746,767
造林事業費	9,824,663		9,824,663
国内植樹事業費	4,628,676		4,628,676
海外植樹事業費	0		0
森林愛護普及啓発事業費	15,734,002		15,734,002
付帯事業費	0		0
期首棚卸高	810,754		810,754
期末棚卸高	▲ 447,930		▲ 447,930
構築物減価償却費	2,196,602		2,196,602
看板等減価償却費	0		0
(役員報酬以下計)	73,203,313		73,203,313
役員報酬	30,312,000		30,312,000
給与手当	19,099,680		19,099,680
退職給付等費用	3,156,106		3,156,106
福利厚生費	6,054,979		6,054,979
旅費交通費	1,367,279		1,367,279
通信運搬費	438,607		438,607
消耗什器備品費	272,137		272,137
消耗品費	287,854		287,854
修繕費	484,792		484,792
印刷製本費	34,200		34,200
光熱水費	247,972		247,972
賃借料	10,462,289		10,462,289
租税公課	900		900
寄付金	0		0
清掃費	431,115		431,115
渉外応接費	63,977		63,977
企画調査費	78,957		78,957
雑費	263,688		263,688
什器備品減価償却費	77,492		77,492
ソフトウェア減価償却費	69,289		69,289
管理費		17,558,502	17,558,502
役員報酬等		8,814,250	8,814,250
給与手当		2,216,510	2,216,510
退職給付費用		899,761	899,761
福利厚生費		1,015,613	1,015,613
会議費		1,108,364	1,108,364
旅費交通費		270,911	270,911
通信運搬費		48,732	48,732
消耗什器備品費		30,238	30,238
消耗品費		31,984	31,984
修繕費		53,864	53,864
印刷製本費		3,800	3,800
光熱水費		27,551	27,551
賃借料		1,162,480	1,162,480
業務委託費		1,707,300	1,707,300
租税公課		900	900
寄付金		0	0
清掃費		47,895	47,895
渉外応接費		63,975	63,975
企画調査費		8,773	8,773
雑費		29,292	29,292
什器備品減価償却費		8,610	8,610
ソフトウェア減価償却費		7,699	7,699
経常費用計	105,950,080	17,558,502	123,508,582
評価損益等調整前当期経常増減額	▲ 538,785	0	▲ 538,785
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	▲ 538,785	0	▲ 538,785

正味財産増減計算書内訳表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

No.2(単位:円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
分収造林契約解除益	14,508	0	14,508
受取寄付金振替額	1,426,844	0	1,426,844
経常外収益計	1,441,352	0	1,441,352
(2) 経常外費用			
森林資産損失	1,426,844	0	1,426,844
固定資産除却額	0	0	0
経常外費用計	1,426,844	0	1,426,844
当期経常外増減額	14,508	0	14,508
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲ 524,277	0	▲ 524,277
一般正味財産期首残高	12,373,707	0	12,373,707
一般正味財産期末残高	11,849,430	0	11,849,430
II 指定正味財産増減の部			
指定正味財産増加額	122,100,919	17,558,502	139,659,421
基本財産受取利息	10,509,237	0	10,509,237
森林整備基金受取利息	1,000,617	0	1,000,617
受取造林補助金	6,149,567	0	6,149,567
受取寄付金(日生)	104,441,498	17,558,502	122,000,000
一般正味財産への振替額(減少)	▲ 101,821,368	▲ 17,558,502	▲ 119,379,870
基本財産受取利息振替額	▲ 10,509,237	0	▲ 10,509,237
森林整備基金受取利息振替額	▲ 1,000,617	0	▲ 1,000,617
受取造林補助金振替額	▲ 6,149,567	0	▲ 6,149,567
寄付金振替額	▲ 44,661,947	▲ 17,558,502	▲ 62,220,449
森林整備基金取崩収入振替額	▲ 11,000,000	0	▲ 11,000,000
森林環境保全特定引当預金振替額	▲ 28,500,000	0	▲ 28,500,000
当期指定正味財産増減額	20,279,551	0	20,279,551
内 森林資産増加額	31,279,551	0	31,279,551
指定正味財産期首残高	2,586,950,251	0	2,586,950,251
指定正味財産期末残高	2,607,229,802	0	2,607,229,802
III 正味財産期末残高	2,619,079,232	0	2,619,079,232

財務諸表に対する注記

1、継続事業の前提に関する注記

貸借対照表日において、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しない。

2、重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
基本財産並びに森林整備基金で保有する全ての国債は満期保有目的の債券である。
このため償却原価法（定額法）を適用する。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産は総平均法による原価法によるものとする。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
構築物及び什器備品について定額法による減価償却を実施している。表示方法は、直接法による。
ソフトウェアについては5年間の均等償却としている。
- (4) 引当金の計上基準
 - ①退職給付引当金
退職給付引当金は、役職員の期末退職給与の要支給額の全額に相当する金額を計上している。
 - ②賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (5) リース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引
引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理を適用している。
- (6) 消費税の処理
消費税の会計処理については、免税業者であるので、税込方式としている。
- (7) 重要な会計方針の変更
なし

3、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,493,247,145	7,075,743	10,391,991	1,489,930,897
普通預金	6,752,855	10,391,991	7,075,743	10,069,103
小 計	1,500,000,000	17,467,734	17,467,734	1,500,000,000
特定資産				
(指定)森林整備基金引当資産	451,291,487	253,513,035	264,513,035	442,291,487
内 投資有価証券	449,738,130	3,544,695	134,018,340	319,264,485
内 定期預金	0	115,950,000	0	115,950,000
内 普通預金	3,553,357	134,018,340	130,494,695	7,077,002
(指定)森林環境保全特定引当普通預金	28,500,000	28,500,000	28,500,000	28,500,000
退職給付引当資産	12,970,833	3,845,867	0	16,816,700
(指定)森林資産	605,158,764	34,902,997	3,623,446	636,438,315
看板等構築物	4	0	0	4
小 計	1,099,921,088	320,761,899	296,636,481	1,124,046,506
合 計	2,599,921,088	338,229,633	314,104,215	2,624,046,506

4、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,489,930,897	(1,489,930,897)	(0)	—
普通預金	10,069,103	(10,069,103)	(0)	—
小 計	1,500,000,000	(1,500,000,000)	(0)	—
特定資産				
(指定)森林整備基金引当資産	442,291,487	(442,291,487)	(0)	—
(指定)森林環境保全特定引当普通預金	28,500,000	(28,500,000)	(0)	—
退職給付引当資産	16,816,700	—	(0)	(16,816,700)
(指定)森林資産	636,438,315	(636,438,315)	(0)	—
看板等構築物	4	—	(4)	—
小 計	1,124,046,506	(1,107,229,802)	(4)	(16,816,700)
合 計	2,624,046,506	(2,607,229,802)	(4)	(16,816,700)

5、担保に供している資産

なし

6、固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
(指定)構築物	37,713,862	15,060,792	22,653,070
(一般)構築物	908,125	908,121	4
什器備品	1,647,648	1,461,587	186,061
ソフトウェア	659,400	165,643	493,757
合 計	40,929,035	17,596,143	23,332,892

7、保証債務等の偶発債務

なし。

8、満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債 (基本財産)			
第56回利付国債	197,526,576	207,336,243	9,809,667
第90回利付国債	199,254,703	201,080,000	1,825,297
第280回利付国債	194,774,939	197,976,900	3,201,961
第286回利付国債	106,523,134	109,116,726	2,593,592
第293回利付国債	196,341,184	199,920,968	3,579,784
第301回利付国債	197,627,041	202,744,530	5,117,489
第308回利付国債	198,578,904	205,599,933	7,021,029
第315回利付国債	199,304,416	207,829,367	8,524,951
国債 (森林整備基金)			
第81回利付国債	84,371,570	84,403,360	31,790
第84回利付国債	234,892,915	235,495,412	602,497
合 計	1,809,195,382	1,851,503,439	42,308,057

9、補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の 名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
造林補助金	北海道知事他 14件	0	6,149,567	6,149,567	0	一般正味財産 流動資産

10、指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	117,953,026
基本財産受取利息振替額	10,509,237
森林整備基金受取利息振替額	1,000,617
受取造林補助金振替額	6,149,567
受取寄付金振替額	60,793,605
森林整備基金取崩収入	11,000,000
森林環境保全振替額	28,500,000
経常外収益への振替額	1,426,844
受取寄付金振替額	1,426,844
合 計	119,379,870

11、退職給付関係

(1) 採用している退職給付の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位:円)

①退職給付債務	▲ 16,816,700
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金 (①+②)	▲ 16,816,700

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位:円)

①勤務費用	4,055,867
②会計基準変更時差異の費用処理額	0
③退職給付費用 (①+②)	4,055,867

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

役員に対する退職慰労金の支給に備えるため、役員及び評議員の報酬等並びに費用の支給基準に基づく期末要支給額を計上している。

職員に対する退職給付債務等の計算にあたっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を計上している。

12、その他

受取寄附金122,000千円は、日本生命保険相互会社からの寄附金である。

日本生命保険相互会社：大阪市中央区、生命保険業、
総資産 526,241億円（平成24年12月末、億円未満切捨て）

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

1、 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記の3、基本財産及び特定資産の増減額及び残高に記載している。

2、 引当金の明細

引当金の明細は、以下のとおりである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	1,115,833	1,117,834	1,115,833	0	1,117,834
退職給付引当金	12,970,833	3,845,867	0	0	16,816,700
合計	14,086,666	4,963,701	1,115,833	0	17,934,534

財 産 目 録

平成25年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目、場所・物量等	使用目的等	金 額		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金	手元保管 公益目的事業会計 法人会計	運転資金として	41,562 0	41,562
普通預金	三井住友銀行本店営業部 公益目的事業会計 法人会計	運転資金として	1,494,938 0	1,494,938
前払金	4件	平成25年度リース料		288,345
未収金	1件	収入印紙誤過納料		8,000
未収利息	第56回利付国債他	基本財産での国債未収利息 森林整備基金での国債未収利息	5,718,431 473,859	6,192,290
貯蔵品	事務室内保管(300冊)	ニッセイの森における広葉樹育て方事業体等配布資料		447,930
流動資産合計				8,473,065
2 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引当普通預金	三井住友銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、償却原価法適用時のアモチゼーション相当分と端数		10,069,103
基本財産引当投資有価証券				
第56回利付国債			197,526,576	
第90回利付国債			199,254,703	
第280回利付国債			194,774,939	
第286回利付国債	村証券本店法人営業部	公益目的保有財産であり、運用益を 公益目的事業の財源として使用している	106,523,134	
第293回利付国債	野村証券本店法人営業部		196,341,184	
第301回利付国債			197,627,041	
第308回利付国債			198,578,904	
第315回利付国債			199,304,416	
基本財産合計				1,489,930,897 1,500,000,000
(2) 特定資産				
(指定) 森林整備基金引当普通預金	三井住友銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、償却原価法適用時のアモチゼーション相当分と端数		7,077,002
(指定) 森林整備基金引当定期預金	三井住友銀行本店営業部			115,950,000
(指定) 森林整備基金引当投資有価証券		公益目的保有財産であり、運用益及び元本を公益目的事業の財源として使用している		
第81回利付国債	村証券本店法人営業部		84,371,570	
第84回利付国債	野村証券本店法人営業部		234,892,915	
(指定) 森林整備基金引当資産計				442,291,487
退職給付引当普通預金				
	三井住友銀行本店営業部	退職給付引当金に相当する額の積み立て	11,816,700	
	三菱東京UFJ銀行虎ノ門支店		5,000,000	16,816,700
(指定) 森林環境保全特定引当普通預金	三井住友銀行本店営業部	公益目的保有財産であり、年度始から7月の寄付金受け入れまでの事業資金として使用する		28,500,000
(指定) 森林資産	ニッセイ富士の森他 別紙明細表参照	公益目的保有財産であり、事業活動の結果であるとともに、事業の展開基盤でもある		636,438,315
看板等構築物	ニッセイ富士の森看板他	公益目的保有財産であり、分取造林契約上の義務行為として設置している		4
特定資産合計				1,124,046,506
(3) その他固定資産				
ソフトウェア	会計ソフト	財団事業に使用		493,757
什器備品	パソコン他	財団事業に使用		186,061
電話加入権	03-3501-5713番他	03-3501-5713番他		224,952
出資金	富士森林組合への出資金	財団事業遂行上必要		20,000
敷金	虎ノ門NNビル	公益目的保有財産であり、事務局として使用する不動産確保のため		6,457,300
その他固定資産合計				7,382,070
固定資産合計				2,631,428,576
資産合計				2,639,901,641
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	法人カード利用等	財団事業遂行上必要な支払での未払い分		2,701,858
預り金	役員員負担社会保険料	納付期限までの預かり		186,017
賞与引当金	従業員に対するもの	従業員の上期賞与の支払に備えるため		1,117,834
流動負債合計				4,005,709
2 固定負債				
退職給付引当金	役員員4名	当期末の退職金の支払に備えるため	16,816,700	
固定負債合計				16,816,700
負債合計				20,822,409
正味財産				2,619,079,232

別紙

森林資産明細表

(平成25年3月31日現在)

植樹地名称	所在地	面積 (ヘクタール)	分収林勘定 (単位 円)
ニッセイ新冠の森	北海道新冠郡新冠町 新和国有林2072林班ね小班	1.5231	1,105,011
ニッセイ夏泊の森	青森県東津軽郡平内町茂浦 月泊山国有林433林班ぬ小班	1.1642	1,440,200
ニッセイ仁別の森	秋田県秋田市仁別 仁別沢国有林45林班る小班	1.3549	1,484,486
ニッセイ軽井沢の森 ①	長野県北佐久郡軽井沢町長倉 長倉山国有林2116林班れ1小班	1.7200	1,399,903
ニッセイ里美の森 ①	茨城県常陸太田市里川字猿喰 猿喰国有林2008林班う小班	1.4600	1,295,868
ニッセイ八王子の森	東京都八王子市下恩方町2549 滝ノ沢国有林205林班に小班	2.7800	3,167,954
ニッセイ南部の森 ①	山梨県南巨摩郡南部町上佐野栃廣 上佐野国有林98林班に1小班	2.1000	3,009,402
ニッセイ富士の森 ①	静岡県富士宮市栗倉2745 富士山国有林170林班の小班	2.3600	3,600,276
ニッセイ設楽の森 ①	愛知県北設楽郡設楽町田峯 段戸国有林151林班ち小班	3.0000	2,454,995
ニッセイ大津の森	滋賀県大津市田上森町 太神山国有林42林班ろ5・い3小班	2.5344	3,717,599
ニッセイ日高の森	和歌山県日高郡印南町大字川又 川又国有林56林班た小班	2.4419	1,971,806
ニッセイ穴栗の森	兵庫県宍粟市波賀町大字音水 音水国有林101林班よ小班	2.8000	3,390,000
ニッセイ八頭の森	鳥取県八頭郡智頭町大字八河谷 鳴滝山国有林51林班る3小班	1.1750	1,382,317
ニッセイ賀茂の森	広島県東広島市黒瀬町大字国近 茂助山国有林526林班よ小班	1.4937	1,953,750
ニッセイ窪川の森	高知県高岡郡四万十川町窪川中津川 森ヶ内山国有林3035林班い2小班	1.3576	844,395
ニッセイ琴海の森	長崎県長崎市長浦町 千々道国有林50林班ち1小班	2.2810	1,816,000
ニッセイ湯布院の森	大分県由布市湯布院町 由布鶴見岳国有林12林班い小班	2.1188	1,853,073
ニッセイ都城の森	宮崎県都城市高城町有水 大丸国有林28林班へ小班	1.2400	1,239,000
(第1回・H5年度植樹合計)		34.9046	37,126,035
ニッセイ知内の森	北海道上磯郡知内町湯の里 湯の里国有林4029林班ぬ小班	1.1495	1,525,303
ニッセイ遠野の森	岩手県遠野市小友町 小友第三国有林234林班は小班	2.8151	2,575,279
ニッセイ月山の森	山形県西村山郡西川町月岡 仁田山国有林67林班く4小班	2.6072	3,859,188
ニッセイ軽井沢の森 ②	長野県北佐久郡軽井沢町長倉 長倉山国有林2116林班れ2小班	1.8200	1,572,429
ニッセイ里美の森 ②	茨城県常陸太田市里川字猿喰 猿喰国有林2008林班う小班	1.8800	1,719,098
ニッセイ熱海の森	静岡県熱海市泉 泉国有林1027林班り小班	2.6800	3,827,340
ニッセイ南部の森 ②	山梨県南巨摩郡南部町上佐野栃廣 上佐野国有林98林班に1小班	1.5000	1,762,072
ニッセイ富士の森 ②	静岡県富士市大淵 富士山国有林196林班い5小班	2.3200	3,373,461
ニッセイ設楽の森 ②	愛知県北設楽郡設楽町田峯 段戸国有林151林班ち小班	3.0300	3,175,196
ニッセイ篠山の森	兵庫県篠山市 高城山国有林206林班う小班	1.4174	1,740,637
ニッセイ吉野の森	奈良県吉野郡大淀町大字中増 高取山国有林47林班へ小班	1.5590	1,944,522
ニッセイ神郷の森	岡山県新見市神郷下神代 釜谷国有林598林班は小班	2.1500	2,389,432
ニッセイ大和の森	島根県邑智郡美郷町大字長藤 曲山国有林224林班わ小班	2.7778	3,206,330
ニッセイ徳地の森 ①	山口県山口市徳地町大字柚木 滑山国有林2林班る小班	2.7967	3,331,609
ニッセイ琴南の森	香川県仲多度郡まんのう町勝浦 奈良ノ木国有林57林班い21小班	1.7261	2,248,080
ニッセイ八木山の森	福岡県飯塚市八木山 比舎田国有林3024林班い6小班	2.3734	3,516,765
ニッセイ田浦の森	熊本県葦北郡葦北町田浦 寺床国有林1064林班や外小班	2.5369	2,663,734
ニッセイ阿久根の森	鹿児島県阿久根市鶴川内 田代鹿倉国有林1101林班に小班	2.4300	4,222,987
(第2回・H6年度植樹合計)		39.5691	48,653,462

森林資産明細表

(平成25年3月31日現在)

植樹地名称	所在地	面積 (ヘクタール)	分収林勘定 (単位 円)
ニッセイ幌加内の森	北海道雨竜郡幌加内町沼牛 幌加内国有林28林班に小班	1.3800	1,363,665
ニッセイ恵庭の森	北海道恵庭市盤尻 盤尻国有林5042林班と小班	1.0176	1,142,991
ニッセイ気仙沼の森	宮城県気仙沼市大峠山 大峠山国有林20林班ぬ2小班	2.7175	2,105,710
ニッセイいわきの森	福島県いわき市田人町 中ノ沢国有林379林班の小班	1.3198	1,613,848
ニッセイ藤原の森	栃木県日光市中三依 太郎岳国有林125林班に1小班	2.1500	2,558,722
ニッセイ桐生の森 ①	群馬県桐生市梅田町 残馬国有林461林班に1小班	1.5000	2,254,354
ニッセイ関川の森 ①	新潟県岩船郡関川村下関 大沢国有林1313林班こ3・4小班	2.1100	2,826,526
ニッセイ大多喜の森	千葉県夷隅郡大多喜町栗又 上修行堀国有林28林班へ3小班	1.4500	2,378,401
ニッセイ富士の森 ③	静岡県富士市大淵 富士山国有林190林班は1小班	1.5600	4,413,662
ニッセイ木曾の森	長野県木曾郡上松町 小川入国有林149林班い1小班	2.5300	2,787,134
ニッセイ神岡の森	岐阜県高山市上宝町 ヲハキ 谷国有林2124林班る小班	2.0600	2,799,193
ニッセイ井手の森 ①	京都府綴喜郡井手町大字井手 山吹山国有林521林班れ小班	1.5900	2,886,443
ニッセイ美作の森 ①	岡山県津山市加茂町下津川 津川山国有林71林班む小班	1.8500	2,469,678
ニッセイ三和の森	広島県神石郡神石高原町大字時安 東山国有林783林班に小班	2.5054	2,878,722
ニッセイ玉川の森	愛媛県今治市玉川町 木地奥山国有林1054林班い14小班	2.5347	3,346,849
ニッセイ佐賀富士の森 ①	佐賀県佐賀市富士町 上下合瀬布巻国有林30林班わ1・ぬ1・は1小班	2.0587	3,019,926
(第3回・H7年度植樹合計分)		30.3337	40,845,824
ニッセイ標茶の森 ①	北海道川上郡標茶町阿歴内 51林班い小班	1.4900	1,542,604
ニッセイ栗駒の森 ①	宮城県大崎市鳴子温泉 鳥留川淵国有林160林班と7小班	1.3500	2,370,943
ニッセイ最上の森	山形県最上郡戸沢村古口 揚巻国有林204林班に小班	2.0010	3,109,459
ニッセイ桐生の森 ②	群馬県桐生市梅田町 残馬国有林461林班に2小班	1.7400	2,859,814
ニッセイ関川の森 ②	新潟県岩船郡関川村下関 大沢国有林1313林班こ5小班	2.2500	2,828,859
ニッセイ飯館の森	福島県相馬郡飯館村臼石字 菅田国有林2350林班れ小班	2.5200	3,039,416
ニッセイ黒羽の森	栃木県大田原市南方 田中国有林27林班や3小班	3.6700	4,443,595
ニッセイ七会の森	茨城県東茨城郡城里町小勝 高田国有林255林班た4小班	1.9400	2,922,887
ニッセイ高尾の森	東京都八王子市下恩方町 滝ノ沢国有林205林班へ小班	3.3600	4,588,000
ニッセイ富士の森 ④	静岡県富士市大淵 富士山国有林190林班は3小班	1.5000	4,018,097
ニッセイ員弁の森 ①	三重県いなべ市北勢町 悟入谷国有林42林班い小班	1.2853	1,862,583
ニッセイ井手の森 ②	京都府綴喜郡井手町大字井手 山吹山国有林521林班れ小班	1.3300	2,027,217
ニッセイ美作の森 ②	岡山県津山市加茂町下津川 津川山国有林71林班う小班	1.2250	1,785,974
ニッセイ祖谷の森	徳島県三好市東祖谷落合 落合国有林151林班に2小班	2.9573	3,635,250
ニッセイ豊前の森	福岡県豊前市鳥居畑 犬ヶ岳国有林1124林班り小班	0.9454	1,269,310
ニッセイ佐世保の森	長崎県佐世保市里美 里美西ノ岳国有林1105林班ち小班	1.4585	2,594,409
ニッセイえびのの森	宮崎県えびの市 昌明寺 昌明寺国有林4046林班り小班	2.9064	3,452,770
(第4回・H8年度植樹合計分)		33.9289	48,351,187

森林資産明細表

(平成25年3月31日現在)

植樹地名称	所在地	面積 (ヘクタール)	分収林勘定 (単位 円)
ニッセイ標茶の森 ②	北海道川上郡標茶町阿歴内 51林班い小班	2.2400	2,414,367
ニッセイ栗駒の森 ②	宮城県大崎市鳴子温泉 鳥留川淵国有林160林班と8小班	1.3400	2,545,379
ニッセイ大船渡の森	岩手県大船渡市末崎町 末崎山国有林59林班は7小班	1.5108	2,170,653
ニッセイ能代の森	秋田県能代市母体 母体山国有林82林班は小班	2.6354	3,632,019
ニッセイ利根の森	群馬県利根郡みなかみ町入須川 十二原国有林204林班た1小班	3.8417	5,607,368
ニッセイ富津高宕の森	千葉県富津市豊岡 蟻谷国有林116林班に小班	3.7500	6,743,912
ニッセイ富士の森 ⑤	静岡県富士市大淵 富士山国有林196林班い3小班	1.2600	4,132,145
ニッセイ多賀の森	滋賀県犬上郡多賀町大字ハツ尾山 ハツ尾山国有林87林班ろ小班	1.7676	2,499,430
ニッセイ飛鳥の森	奈良県吉野郡大淀町大字中増 高取山国有林47林班ち小班	3.4600	5,917,684
ニッセイ大原の森	山口県山口市徳地町大字柚木 滑山国有林2林班ぬ小班	1.5659	2,270,757
ニッセイ鹿足の森	島根県鹿足郡吉賀町大字六日市 鹿足河内国有林547林班は小班	1.5082	2,180,613
ニッセイ土佐安芸の森 ①	高知県安芸市別役 大除平瀬山国有林27林班ろ1小班	3.4900	4,686,089
ニッセイ那珂川の森	福岡県筑紫郡那珂川町上梶原 上梶原国有林122林班よ1小班	1.3960	2,191,532
ニッセイ甘木の森 ①	福岡県朝倉市黒川 長迫国有林2036林班は小班	2.4200	3,808,595
ニッセイ阿蘇の森	熊本県阿蘇市西湯浦 阿蘇深葉国有林12林班わ1小班	1.7248	2,551,133
(第5回・H9年度植樹合計分)		33.9104	53,351,676
ニッセイ田子の森	青森県三戸郡田子町 相米 小国深山国有林66林班は4小班	1.8555	2,405,226
ニッセイ金山の森	福島県大沼郡金山町太郎布 惣山国有林548林班ほ6小班	3.4622	6,683,445
ニッセイ宇都宮の森 ①	栃木県宇都宮市新里町 鞍掛山国有林78林班は1・2小班	3.2500	4,406,602
ニッセイ富士の森 ⑥	静岡県富士市大淵 富士山国有林190林班は4小班	3.5100	9,810,515
ニッセイ中津川の森	岐阜県恵那市上矢作町 上村恵那国有林1091林班へ小班	2.1300	3,129,220
ニッセイ綾部の森	京都府綾部市釜輪町 奥山国有林55林班れ小班	3.2001	5,072,792
ニッセイ高野の森	和歌山県伊都郡高野町大字高野山 高野山国有林230林班ち小班	2.4400	3,383,836
ニッセイ因幡佐治の森	鳥取県鳥取市佐治町大字高山 山王谷国有林91林班ち小班	2.6460	4,455,866
ニッセイ小田深山の森	愛媛県喜多郡内子町中川 小田深山国有林58林班ろ1小班	3.4140	4,211,226
ニッセイ土佐安芸の森 ②	高知県安芸市別役 大除平瀬山国有林27林班ろ1小班	0.7700	920,038
ニッセイ甘木の森 ②	福岡県朝倉市黒川 長迫国有林2036林班は小班	1.3200	1,875,027
ニッセイ脊振の森	佐賀県神埼市脊振町 脊振山国有林21林班ほ6小班	1.4362	2,520,759
ニッセイ九重の森	大分県玖珠郡九重町 扇山国有林1056林班ろ小班	3.2965	4,391,730
ニッセイ国分の森 ①	鹿児島県霧島市国分郡田 高松国有林1090林班た1小班	1.4000	2,220,450
(第6回・H10年度植樹合計分)		34.1305	55,486,732
ニッセイ紋別	北海道紋別市上渚滑町中立牛 1061林班ほ小班	2.0175	2,102,867
ニッセイ阿寒の森 ①	北海道釧路市阿寒町 2042林班ろ小班	2.0000	1,529,365
ニッセイ松前福島の森	北海道松前郡福島町千軒 4194林班ろ小班	1.5877	1,956,832
ニッセイ田代の森	秋田県大館市岩瀬 岩瀬沢国有林2363林班は1小班	2.9217	4,552,320
ニッセイ宇都宮の森 ②	栃木県宇都宮市新里町 鞍掛山国有林78林班は1・2小班	1.1800	1,554,648
ニッセイ湯沢の森 ①	新潟県南魚沼郡湯沢町土樽 西山東山国有林130林班い小班	4.1000	6,007,911
ニッセイ富士の森 ⑦	静岡県富士市大淵 富士山国有林196林班ろ小班	2.0700	3,548,074
ニッセイ飛騨清見の森	岐阜県高山市清見町 小井戸国有林54林班ろ小班	2.6987	4,575,469
ニッセイ野呂山の森	広島県呉市安浦町 野路山国有林531林班の小班	3.4223	5,234,747
ニッセイ三木の森	香川県木田郡三木町奥山 大満地国有林29林班ろ1小班	2.9540	3,025,959
ニッセイ金峰の森	熊本県玉名市天水町 熊野岳国有林159林班い4小班	2.1450	3,024,084
ニッセイ木城の森 ①	宮崎県児湯郡木城町石河内 尾鈴国有林238林班い小班	4.8800	7,236,928
ニッセイ国分の森 ②	鹿児島県霧島市国分郡田 高松国有林1090林班た1小班	2.2700	3,288,409
ニッセイ東市来の森	鹿児島県日置市東市来町湯田 堅山国有林61林班ぬ小班	1.6781	2,866,664
(第7回・H11年度植樹合計分)		35.9250	50,504,277

森林資産明細表

(平成25年3月31日現在)

植樹地名	所在地	面積 (ヘクタール)	分収林勘定 (単位 円)
ニッセイ浜益の森 ①	北海道石狩市浜益区 実田国有林557林班よ小班	2.0700	2,082,495
ニッセイ阿寒の森 ②	北海道釧路市阿寒町 2042林班ろ2小班	1.1300	1,152,953
ニッセイ湯沢の森 ②	新潟県南魚沼郡湯沢町土樽 西山東山国有林130林班い1小班	3.1300	4,434,770
ニッセイ吾妻の森 ①	群馬県吾妻郡東吾妻町川戸 鳥帽子国有林74林班い1小班	4.4400	7,459,068
ニッセイ相模の森	神奈川県相模原市 谷山国有林258林班ち1小班	2.9400	5,114,766
ニッセイ富士の森 ⑧	静岡県富士市大淵 富士山国有林196林班ろ1小班	1.4600	2,826,883
ニッセイ社の森 ①	兵庫県加東市社町 朝光山国有林704林班に1小班	1.7500	2,607,592
ニッセイ北房の森	岡山県真庭市五名 興法地国有林515林班ぬ1小班	4.4955	6,903,120
ニッセイ川本の森	島根県邑智郡川本町大字川本 下り谷国有林269林班い1小班	2.4840	4,266,548
ニッセイ三好の森	徳島県三好市東祖谷小島 小島国有林66林班ほ12小班	3.0971	3,740,626
ニッセイ水俣の森	熊本県水俣市湯出 湯出矢筈岳国有林1409林班ね2小班	2.1091	3,049,532
ニッセイ安心院の森	大分県宇佐市安心院町 中州国有林47林班か4小班	1.3970	1,745,629
ニッセイ木城の森 ②	宮崎県児湯郡木城町石河内 尾鈴国有林238林班い1小班	2.0300	2,623,485
ニッセイ垂水の森 ①	鹿児島県垂水市田神 後平国有林115林班は3・は4小班	2.3000	3,543,277
(第8回・H12年度植樹合計)		34.8327	51,550,744
ニッセイ浜益の森 ②	北海道石狩市浜益区 実田国有林557林班よ小班	2.0000	2,381,664
ニッセイ佐呂間の森	北海道常呂郡佐呂間町字武士 2026林班た1小班	2.5961	2,722,103
ニッセイ紫波の森 ①	岩手県紫波郡紫波町土館 山王海山国有林404林班に2小班	3.8600	4,228,823
ニッセイ鮭川の森 ①	山形県最上郡鮭川村 切欠上野国有林41林班へ17小班	1.4500	2,392,525
ニッセイ塙の森	福島県東白河郡塙町真名畑 入山国有林50林班ほ4小班	3.2700	5,511,390
ニッセイ吾妻の森 ②	群馬県吾妻郡東吾妻町川戸 鳥帽子国有林74林班い1小班	2.7900	5,080,868
ニッセイ富士の森 ⑨	静岡県富士市大淵 富士山国有林199林班ぬ1小班	1.6100	6,128,041
ニッセイ日原の森	島根県鹿足郡津和野町佐證 高嶺芦谷国有林516林班と1小班	1.3112	2,078,602
ニッセイ加茂川の森	岡山県加賀郡吉備中央町 加茂山国有林838林班は1小班	1.7722	2,110,991
ニッセイ三次の森	広島県三次市布野町大字下布野 宇遠木山国有林33林班わ1小班	0.6438	1,016,211
ニッセイ安芸の森	高知県安芸市古井 揚ヶ谷山国有林10林班い11小班	2.0983	3,099,761
ニッセイ佐賀富士の森 ②	佐賀県佐賀市富士町 上合瀬布巻国有林31林班い2小班	2.6036	4,013,191
ニッセイ小石原の森 ①	福岡県朝倉郡東峰村小石原 白石国有林2023林班い1小班	2.0700	2,507,412
ニッセイ田野の森	宮崎県宮崎市田野町 鱈頭国有林82林班や1小班	4.2363	4,274,620
ニッセイ垂水の森 ②	鹿児島県垂水市田神 後平国有林115林班は3・は4小班	1.2700	2,272,240
(第9回・H13年度植樹合計)		33.5815	49,818,442
ニッセイ紫波の森 ②	岩手県紫波郡紫波町土館 山王海山国有林404林班に3小班	1.0300	1,082,801
ニッセイ平泉の森	岩手県西磐井郡平泉町 上ノ林国有林257林班い3小班	3.8900	6,319,367
ニッセイ鮭川の森 ②	山形県最上郡鮭川村 切欠上野国有林41林班へ17小班	1.8700	3,125,355
ニッセイ苗場の森	新潟県南魚沼郡湯沢町三俣 日白山国有林97林班に2・4小班	3.3941	5,997,235
ニッセイ大子の森	茨城県常陸太田市里川字三古室 黒川国有林2005林班と2小班	0.9500	1,122,236
ニッセイ富士の森 ⑩	静岡県富士市大淵 富士山国有林200林班る2小班	1.4100	4,028,494
ニッセイ敦賀の森	福井県敦賀市山 黒河山国有林151林班へ1小班	3.4938	4,991,845
ニッセイ社の森 ②	兵庫県加東市社町 朝光山国有林704林班ち1小班	0.8900	1,548,289
ニッセイ新見の森	岡山県新見市菅生 用郷山国有林554林班と1小班	4.1901	5,677,451
ニッセイ徳地の森 ②	山口県山口市徳地町大字柚木 滑山国有林2林班わ1小班・19林班ろ1小班・20林班と1小班	3.1272	5,052,891
ニッセイ小石原の森 ②	福岡県朝倉郡東峰村小石原 白石国有林2023林班い1小班	2.8500	3,191,769
ニッセイ朝倉の森	福岡県朝倉市山田 田ノ口国有林2037林班と1小班	1.4024	1,691,475
ニッセイ西有家の森	長崎県南島原市西有家町 西有家温泉岳国有林102林班わ1小班	4.0669	6,446,351
(第10回・H14年度植樹合計)		32.5645	50,275,559

森林資産明細表

(平成25年3月31日現在)

植樹地名称	所在地	面積 (ヘクタール)	分収林勘定 (単位 円)
ニッセイ雄勝の森 ①	秋田県湯沢市秋ノ宮字 役内国有林28林班た小班	1.8000	2,608,626
ニッセイ伊豆の森 ①	静岡県伊豆市湯ヶ島 湯ヶ島国有林136林班い小班	1.8300	3,451,465
ニッセイ員弁の森 ②	三重県いなべ市北勢町 悟入谷国有林33林班わ小班	2.2116	2,711,957
ニッセイ一宮の森	兵庫県宍粟市一宮町 阪水国有林44林班ね小班	2.5383	3,429,148
ニッセイ久米の森	岡山県久米郡美咲町 大戸山国有林111林班り班	1.3778	1,721,363
ニッセイ阿戸の森	広島県広島市安芸区阿戸町 大谷山国有林554林班た小班	1.3928	1,650,453
(第11回・H15年度植樹合計分)		11.1500	15,573,012
ニッセイ雄勝の森 ②	秋田県湯沢市秋ノ宮字 役内国有林28林班た小班	1.5900	2,193,980
ニッセイ伊豆の森 ②	静岡県伊豆市湯ヶ島 湯ヶ島国有林136林班い小班	1.6300	3,074,189
ニッセイ船引の森	福島県田村郡船引町上移 入山国有林248林班わ1小班	5.8094	8,662,099
ニッセイ土佐山田の森	高知県香美市土佐山田町 立割不寒冬山国有林106林班ろ1小班	1.0308	1,223,280
(第12回・H16年度植樹合計分)		10.0600	15,153,548
ニッセイむつの森	青森県むつ市田名郡 矢立山国有林32林班か小班	5.9800	9,331,605
ニッセイ川崎の森	宮城県柴田郡川崎町今宿 小屋沢山国有林211林班は2小班	1.3118	1,962,805
ニッセイ小野上の森	群馬県渋川市小野子 裸岩国有林299林班わ1小班	3.8584	5,515,469
(第13回・H17年度植樹合計分)		11.1400	16,809,879
ニッセイまんのうの森	香川県仲多度郡まんのう町 下福家国有林58林班に2小班	2.7235	3,553,999
ニッセイ鱈頭の森	宮城県宮崎市田野町 鱈頭国有林78林班た小班	4.0976	5,593,300
ニッセイ高尾野の森	鹿児島県出水市高尾野町 長尾国有林1089林班り1小班	2.0009	4,116,754
(第14回・H18年度植樹合計分)		8.8200	13,264,053
ニッセイ苫小牧の森	北海道苫小牧市錦岡国有林胆振東部森林管理署1479林班ほ小班	3.3342	4,222,265
ニッセイときがわの森	埼玉県比企郡ときがわ町西平 都幾山国有林34林班り1小班	1.8000	3,075,502
ニッセイ南阿蘇の森	熊本県阿蘇郡南阿蘇村 中山国有林120林班い小班	2.6485	3,563,879
(第15回・H19年度植樹合計分)		7.7800	10,861,646
ニッセイ岩見の森	秋田県秋田市河辺岩見字 岩見山国有林262林班ぬ小班	3.3286	5,164,533
ニッセイ大田原の森	栃木県大田原市北野上字塩ノ草 塩ノ草国有林29林班か小班	2.0289	3,582,142
ニッセイ安中の森	群馬県安中市松井田町大字坂本字 霧積山国有林127林班は1・2小班	1.2159	1,999,553
ニッセイ長崎の森	長崎県長崎市神浦北大中尾町 神浦岩脊戸国有林60林班い小班	3.8653	7,210,852
(第16回・H20年度植樹合計分)		10.4400	17,957,080
ニッセイ足寄の森	北海道足寄郡足寄町上足寄 十勝東部森林管理署69林班い小班	4.0000	4,261,351
ニッセイ別府の森	大分県別府市大字内成 コカノ原国有林1016林班は小班	3.2276	5,510,344
ニッセイ熊本の森	熊本県熊本市貞町 小萩国有林173林班に1小班	3.7561	6,264,499
(第17回・H21年度植樹合計分)		10.9700	16,036,194
ニッセイ日高の森	北海道沙流郡平取町 振内国有林1008林班は小班	2.3321	3,786,927
ニッセイ常陸太田の森	茨城県常陸太田市折橋町横川 横川入国有林2037林班い小班	2.8500	4,307,771
ニッセイ筑前の森	福岡県朝倉郡筑前町 大谷国有林2林班よ小班	5.2816	12,975,817
ニッセイ霧島の森	鹿児島県姶良郡湧水町 般若寺国有林3092林班ち1小班	1.9749	3,806,907
(第18回・H22年度植樹合計分)		12.4300	24,877,422
ニッセイ山形の森	山形県西村山郡山辺町 虚空蔵外6国有林267林班わ小班	3.3300	5,635,058
ニッセイ豊橋の森	愛知県豊橋市岩崎町字内山 豊橋国有林1251林班い1,ろ1小班	2.5800	8,507,300
(第19回・H23年度植樹合計分)		5.9100	14,142,358
ニッセイ支笏湖の森	北海道千歳市西森 石狩森林管理署 5250ほ林小班	3.2330	5,799,185
(第20回・H24年度植樹合計分)		3.2330	5,799,185
		435.6139	636,438,315

独立監査人の監査報告書謄本

独立監査人の監査報告書

平成 25 年 5 月 13 日

公益財団法人 ニッセイ緑の財団
理事長 新 居 尊 夫 殿

渡辺公認会計士事務所

公認会計士

渡辺 俊 之

<財務諸表監査>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人ニッセイ緑の財団の平成 24 事業年度（平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I-5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人ニッセイ緑の財団の平成 25 年 3 月 31 日現在の平成 24 事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して財産目録を作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人ニッセイ緑の財団と私との間には、公益会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監事監査報告書

私ども監事は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第2回事業年度における理事の職務の執行状況について報告を受けるとともに、当該事業年度に係る事業報告書について慎重な検討を加え、その他必要と思われる監査手続きを実施した結果、次のとおり報告致します。

監査の結果

- 1 事業報告書は、法令及び定款に従い、財団の状況を正しく示しているものと認めます。
- 2 理事の職務の遂行に関し不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 3 財務諸表等及び財産目録に関する会計監査人渡辺公認会計士の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成25年5月15日

公益財団法人 ニッセイ緑の財団

監事 垣見 隆 

監事 窪谷 治 